



## 鶏卵生産者経営安定対策事業への新規「加入のご案内」について

平成29年度からの鶏卵生産者経営安定対策事業の加入申込みを開始いたします。  
本事業につきましては、成鶏更新・空舎延長事業の発動の際に、

- ①採卵用成鶏めす10万羽以上規模の生産者に対して価格差補填金を交付しないこと
- ②成鶏更新・空舎延長事業に取り組んだ生産者に対し、成鶏の出荷が確認できた段階で奨励金を交付すること

など、事業の仕組みを大幅に見直しております。

本事業は鶏卵生産者の皆様の相互扶助のもとに経営安定と鶏卵の需給及び価格の安定を図るものであり、できる限り多くの鶏卵生産者の皆様にご加入して頂くことが事業の効果的な執行のために極めて重要であります。

このため、下記「事業のあらまし」をご覧ください、新規のご加入につきまして、ご検討をいただきたくお願い申し上げます。

新規にご加入の検討をいただける皆様には関係資料を郵送いたしますので、平成29年5月26日までに、ご住所、法人・個人名・連絡先等をご記入の上FAXまたはEメールにより当協会へお知らせ下さるようお願い申し上げます。

なお、平成28年度第2期事業加入生産者の皆様には、契約書類等関係資料を別途送付いたします。

### 事業のあらまし

#### ○ 事業に参加できる方

採卵用成鶏めすを100羽以上飼養し、当協会と契約を締結する生産者

#### 〈鶏卵価格差補填事業〉

#### ○ 補填水準

$[(\text{補填基準価格}(*1)) - (\text{標準取引価格}(*2))] \times 0.9$

\*1 毎年度決定、平成29年度は187円/kg

\*2 JA全農たまご株式会社の毎月の規格卵加重平均価格



# 日鶏協ニュース

平成29年4月号  
一般社団法人 日本養鶏協会

## ○ 補填額の財源

3 (生産者の積立金) : 1 (国の補助金)

## ○ 補填額と生産者と国の負担 (例)

補填対象 数量	補填価格	補填額	の場合	生産者の負担 (3/4)	国の補助 (1/4)
10,000kg	10円	100,000円	=	75,000円	25,000円

## 〈成鶏更新・空舎延長事業〉

## ○ 鶏卵価格の異常低落時(\*3)に、成鶏更新・空舎延長事業(\*4)に参加した場合の奨励金

成鶏めす10万羽以上規模層：210円/羽

成鶏めす10万羽未満規模層：270円/羽

\*3 鶏卵価格の異常低落時

標準取引価格(日ごと)が安定基準価格(平成29年度は165円/kg)を下回った時

\*4 成鶏更新・空舎延長事業

成鶏めすを出荷し、60日以上空舎期間を設ける事業

## ○ 成鶏更新・空舎延長事業発動時の補填金交付

卵価の低落時に鶏卵価格の早期回復を図るため、成鶏10万羽以上の生産者には価格差補填金は交付されません。

## ○ 成鶏更新・空舎延長事業奨励金の財源

1 (生産者の協力金) : 3 (国の補助金)

## ○ 成鶏更新・空舎延長事業参加者の奨励金交付申請時期

参加者が成鶏めすを出荷し、成鶏の処理を証明するものなど関係書類が準備できた時。

## ○ 平成29年度の負担金等単価

鶏卵価格差補填事業の積立金 4.83円/kg

成鶏更新・空舎延長事業の協力金 0.17円/kg

事務手数料 0.08円/kg



# 日鶏協ニュース

平成29年4月号  
一般社団法人 日本養鶏協会

## ○ 負担金（積立金と協力金）の税制上の取扱い

負担金は経理上、損金として取り扱われる予定。  
(国税庁と協議中)

## ○ 負担金（積立金と協力金）の管理・運用

- ・積立金と協力金は、別々の資金として管理されます。
- ・積立金（協力金）は加入生産者全ての分を一括して管理（プール管理）されます。

## ○ 天災・鶏病発生時等の取扱い

天災、鶏病発生時、廃業等の場合には、実際の飼養羽数に合せた契約数量に変更できます。

## ○ 基本契約期間終了時（平成31年度末）の負担金残額の取扱い

負担金の残額が納付されるべき負担金の1/3を超えた場合には、超えた額を負担金の納付割合に応じて返還いたします。(自己都合等により解約した場合を除きます。)

## ☆ 加入のお願い

本事業は、鶏卵生産者の皆様の相互扶助により、経営安定と鶏卵価格の安定を図る事業ですので、できる限り多くの生産者の加入をお願いいたします。

## ☆ 加入希望の際の問い合わせ方法

本事業への加入をご検討、ご希望の方は、平成29年5月26日までに、ご住所、法人・個人名・連絡先等をご記入の上 FAX 又は Eメールをご送付願います。本事業の関係資料や契約書類を郵送いたします。詳しくは下記までお問い合わせ下さい。

### 【問い合わせ先】

一般社団法人 日本養鶏協会 業務第2部

TEL : 03-3297-5515 FAX : 03-3297-5519

Email : info@jpa.or.jp



## ゴールデンウィークにおける口蹄疫等の防疫対策の徹底について

農林水産省消費・安全局動物衛生課長より、中国や韓国を始めとする東アジア地域では、家畜の悪性伝染病である口蹄疫や鳥インフルエンザなどの発生が継続して確認されている中、4月末からゴールデンウィークを迎え日本から海外への渡航者が増えることにより、我が国への家畜伝染病の病原体が侵入・まん延するリスクが高くなると考えられることから、「ゴールデンウィークにおける口蹄疫等の防疫対策の徹底について」が発出され、周知・協力依頼がありましたので、お知らせします。会員の皆様におかれましては、従来からの防疫対策に加え、下記の事項にご留意いただきますようお願いいたします。

### 1. 畜産関係者等の海外渡航の自粛等の指導の徹底について

発生地域への渡航を可能な限り自粛をお願いします。仮に渡航する場合には、以下の点に留意するようお願いいたします。

#### (1) 渡航に当たっての留意事項

- ① 家畜市場、農場、と畜場等の畜産関係施設へは立ち入らないこと
- ② 動物と不必要な接触をしないこと
- ③ 肉製品（牛肉・ビーフジャーキー・ソーセージ等）を持ち帰らないこと
- ④ 帰国の際、航空機内等で配布された質問票の質問事項に該当する方は、到着した動物検疫所カウンターに立ち寄り、家畜防疫官の指導を受けること

#### (2) 帰国後の留意事項

- ① 畜産関係施設へは帰国後一週間は、必要がある場合を除き、立ち入らないこと
- ② 海外で使用した衣服や靴を衛生管理区域に持ちこまないこと
- ③ やむを得ず、持ち込む場合には洗浄・消毒等をしっかりと行うこと

### 2. 連絡体制の確認について

緊急時に万全な防疫措置を講じられるよう、連絡体制を点検すること

詳細につきましては、下記リンクをご確認下さい。

[http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/katiku\\_yobo/FMD\\_tsuuchi/attach/pdf/index-2.pdf](http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/katiku_yobo/FMD_tsuuchi/attach/pdf/index-2.pdf)



## 外食産業等と連携した畜産物の需要拡大対策事業の公募について

農林水産省より、平成28年度補正予算事業である「平成28年度外食産業等と連携した畜産物の需要拡大対策事業」の公募が開始されましたので、概要について下記の通りお知らせします。

### 【事業主体】

日本ハム・ソーセージ工業協同組合

### 【事業の趣旨】

環太平洋パートナーシップ協定（TPP）交渉における大筋合意を踏まえ、国産畜産物の競争力を強化し、需要フロンティアの開拓を図ることにより、攻めの農林水産業を推進することが必要となっております。

このため、畜産物を取り扱う外食・中食・加工業者等を対象に、新商品の開発、製造等を可能とする製造加工技術の開発等の取組を支援し、国産畜産物の需要拡大を通じ、我が国畜産の競争力強化を図るものです。

### 【事業の概要】

#### 技術・機械開発等実証事業

需要者における新しいニーズの調査、産地と複数年契約を締結する外食・中食、加工業者等による国産畜産物を活用した新商品の開発のための技術開発や新商品への原料原産地表示等を支援します。

### 【応募方法】

日本ハム・ソーセージ工業協同組合HP当該事業紹介ページ内の応募書類を作成し公募期間中に下記の応募先に郵送又は持参にて提出して下さい。

(↑下線部をクリックで、当該事業紹介ページが開きます)

### 【公募期間】

平成29年4月19日～平成29年5月19日

### 【応募先及び問合せ先】

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-5-6 ハム・ソーセージ会館  
ハム・ソーセージ工業協同組合 業務部 宛

TEL：03-3444-1523 FAX：03-3441-1933

※受付時間については、平日午前9時00分～午後5時00分まで

<http://hamukumi.lin.gr.jp/oshirase/201612hoseiyosanchikusan.html>



## 協会活動報告

[青字下線部クリックで、\(一社\)日本養鶏協会ホームページ内  
該当事業のページが開きます](#)

### 1. 各事業の報告

#### (1) 鶏卵生産者経営安定対策事業

① 鶏卵価格差補填事業の事業参加者との契約数量 (トン/月当たり)

平成25年度	164,822
平成26年度	160,792
平成27年度	161,936
平成28年度	164,846

② 3月の標準取引価格 210.30 円/Kg

平成28年度補填基準価格 189 円/Kg

平成28年度安定基準価格 169 円/Kg

#### (2) 畜産物輸出特別支援事業 (鶏卵輸出部会)



## 香港、台湾でのプロモーションについて



平成29年度になり、鶏卵輸出促進活動も新しい年度を迎えました。

昨年度は会員の皆様からの多大なるご協力や、関係官庁・団体等よりご支援を頂き、多くのプロモーション活動・調査活動を行うことができました。

本年度も引き続き既存輸出先国でのプロモーション活動を行ってまいります。当部会の親団体である日本畜産物輸出促進協議会では以下のプロモーションへの参加者を募集しています。

#### ①香港 FOOD EXPO2017

開催期間 平成29年8月17日(木)～19日(土)

出張期間 平成29年8月16日(水)～20日(日)

開催場所 Hong Kong Convention & Exhibition Center

募集人員 当部会会員より3名(事務局1名同行)

参加：牛肉、豚肉、鶏肉、牛乳・乳製品、鶏卵の各輸出部会

#### ②台湾高雄 国際食品展2017

開催期間 平成29年10月26日(木)～29日(日)

出張期間 平成29年10月25日(水)～30日(月)

開催場所 高雄展覽館(台湾高雄市)

募集人員 当部会会員より2名(事務局1名同行)

参加：豚肉、牛乳・乳製品、鶏卵の各輸出部会



上記以外に当部会による既存3か国でのプロモーション活動も計画しています。  
当部会活動については、昨年度のプロモーション活動の経験者を中心に「海外プロモーション活動企画検討委員会」を開催して、具体案を検討・立案していくことと致しますが、この委員会を4月26日（水）に開催致しました。

海外プロモーションについてのご意見、アイデアをお持ちの方、上記の香港、高雄展示会や海外プロモーション活動企画検討委員会にご興味をお持ちの方は、事務局までご連絡下さい。



## 平成28年度 輸出部会活動報告書 Overseas Report

昨年度、海外プロモーション参加者に報告書を作成してもらいました。

また海外調査を行う際、事前に現地の調査会社へ「鶏卵事情報告書」をお願いし、チーム訪問時にはそれを基に現地調査を行いました。

これらの報告書により、既存輸出先国や新規輸出先希望国の実情把握や、当部会の活動が容易に理解できることとなります。

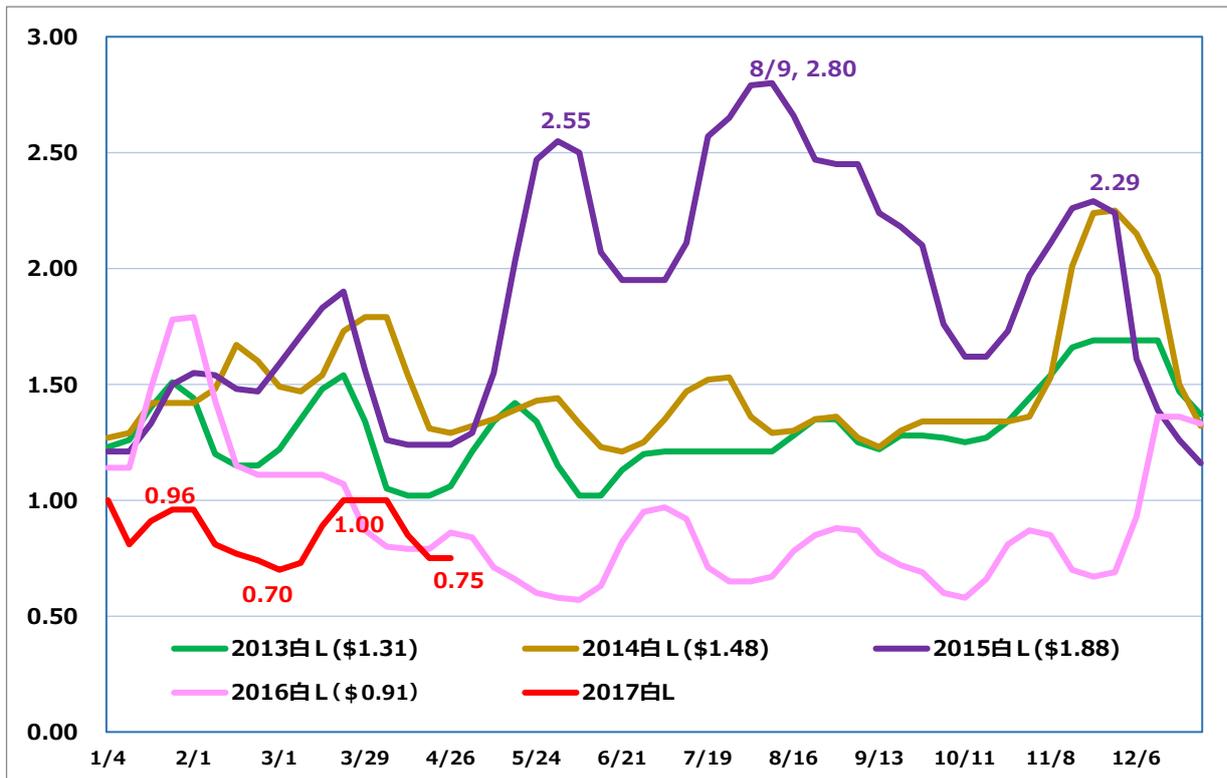
以下が28年度に当部会で作成、入手した報告書です。

No	国等	タイトル	明細
1	台北	「FOOD 台北」出張報告書	6/21(火)~26(日)
2	香港	「FOOD EXPO 香港 2016」出張報告書	8/10(水)~14(日)
3	台北	「日本のたまごフェア」出張報告書	9/1(木)~6(火)
4	シンガポール	「FOOD JAPAN2016」出張報告書	10/25(火)~31(月)
5	香港	「日本のたまごの日」プロモーション報告書	11/3(木)~7(月)
6	香港	「日本のたまごのフェア」プロモーション報告書	29年2/9(木)~14(火)
7	ウラジオストク	「ウラジオストク調査報告書」	8/21(日)~25(木)
8	韓国	「韓国調査報告書」	9/26(日)~29(木)
9	フィリピン	「フィリピン調査報告書」	12/4(日)~8(木)
10	ロシア	「ロシア鶏卵市場調査」(仮訳)	Far Eastern Marketing Agency
11	韓国	「韓国における鶏卵事情調査報告書」	(株)ダイヤモンドコンサルティング
12	フィリピン	「フィリピン経済概要」	JETRO マニラ事務所
13	フィリピン	「フィリピンにおける採卵鶏市場」(仮訳)	野村総合研究所 マニラ事務所
14	マカオ	「An Overview of Egg Import from Japan to Macau」(英文)	Macao Research Centre
15	シンガポール	「シンガポールの鶏卵流通事情」調査報告書	Heisei Enterprise



前頁の報告書にご興味をお持ちの方は、事務局までご連絡下さい。  
データまたは郵送にて送付致します。

## 【米国 鶏卵相場推移 週ごと 2013-2017年 北東部 白Lサイズ ドル/ダース】



資料：米国 Urner Barry's Foodmarket 社調べ

米国の鶏卵相場は、2017年に入り、過去5年で最も低い価格でスタートしましたが、その後も値を下げ、3月下旬には1ドルまで戻したものの4月下旬に0.75ドルまで値を下げるという低調な動きになっています。

## 2. 今後の予定

- 5月12日（金） 生産者監事公開開票集計（馬事畜産会館2階）
- 5月22日（月） 鶏卵公正取引協議会 第1回 理事会（馬事畜産会館2階）
- 5月23日（火） 第1回 普及啓発委員会（ミーティングスペースat八丁堀）
- 5月30日（火） 監事監査（馬事畜産会館2階）
- 6月2日（金） 第1回 理事会（馬事畜産会館2階）





# 日鶏協ニュース

平成29年4月号  
一般社団法人 日本養鶏協会

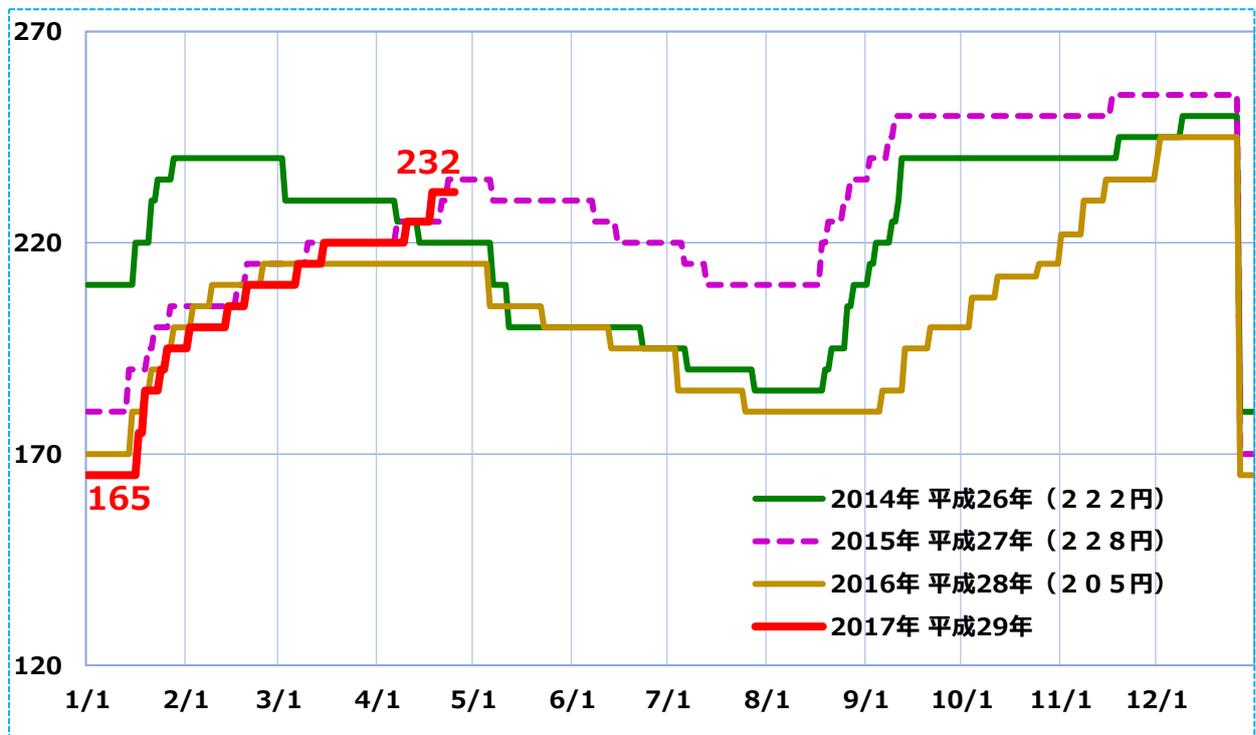
## 統計データ

### 【相場動向】 過去10年間の3月相場<Mサイズ>

	平均値	高値	安値
平成20年	195	212	189
平成21年	180	208	164
平成22年	177	203	164
平成23年	217	278	179
平成24年	178	203	169
平成25年	175	208	164
平成26年	230	248	224
平成27年	219	238	209
平成28年	215	233	209
平成29年	217	238	204
平均値	200	227	188

平成29年3月の鶏卵相場（東京全農Mサイズ）は、平均値217円・高値238円・安値204円共に過去10年間で3番目に高い相場となっています。

### 【鶏卵相場推移 2014年～2017年 東京全農Mサイズ 円/Kg】



鶏卵相場は平成29年に入り、過去4年で最低価格の165円まで大きく値を下げたスタートでしたが、その後値を上げ3月中旬には過去5年で最も高いペースで推移した平成27年の相場に並ぶまで上昇しました。4月下旬には232円まで値を上げています。



## 【鶏卵関係主要計数】平成29年2月までの1年間の主要計数推移

	雛餌付羽数(出荷)		配合飼料出荷量		家計消費量		鶏卵相場	
	数量(千羽)	前年比	成鶏用		一人当たり		東京全農M	
			数量(千ト)	前年比	数量(グラム)	前年比	本年	前年
28年 3月	9,238	99.7%	494	102.9%	865	101.6%	215	219
4月	8,779	104.4%	486	101.4%	890	106.1%	215	227
5月	9,398	104.6%	464	103.2%	889	103.8%	204	230
6月	9,228	101.6%	463	101.9%	867	108.0%	197	223
7月	8,532	96.6%	438	94.8%	864	105.7%	184	213
8月	8,471	112.9%	454	106.9%	811	100.8%	180	219
9月	9,184	108.8%	446	97.9%	847	105.5%	192	247
10月	9,140	103.1%	464	96.9%	908	106.6%	211	250
11月	8,837	103.7%	478	103.7%	875	104.0%	231	252
12月	9,213	101.6%	524	100.5%	909	106.9%	244	245
29年 1月	9,276	111.5%	457	101.9%	850	102.0%	179	182
2月	8,277	96.2%	450	95.8%	814	96.3%	204	209
1年間小計	107,573	103.7%	5,618	100.7%	10,388	103.9%	205	226

- ・雛餌付羽数は、昨年7月以来、前年比割れの96.2%となりましたが、一年間の平均では前年を上回って推移しています。
- ・配合飼料出荷量は、前年比4.2%減となりましたが、数量で見ると1月から横ばいの45万トンとなっています。
- ・鶏卵家計消費量は、前年比3.7%減と年間を通して初の前年割れとなりましたが、1年の平均でみると、3.9%上回った消費量になっています。
- ・2月は、うるう年の前年に比べ1日短かった事から雛餌付羽数・配合飼料出荷量・鶏卵家計消費量ともに前年比割れの数量となりました。

【日鶏協ニュース】 発行者：一般社団法人 日本養鶏協会

〒104-0033 東京都中央区新川二丁目6番16号 馬事畜産会館内（5階）

TEL：(03)3297-5515 FAX：(03)3297-5519 発行日 2017年4月28日

編集・発行責任者：小田上浩史(info@jpa.or.jp)

